

蒲郡市議会 出選市長

25年ぶりのくじ引き

共産党が初の副議長

蒲郡市議会5月臨時会は12日開会、選挙で同数となった正副議長をくじ引きで決める異例の事態となった。その結果、同市議会では初めて、共産党議員による副議長が誕生した。くじ引きによる議長選は25年ぶり。



波多野議長



柴田副議長

議会役員を選挙を巡っては、議長を含む2役を求めた最大会派の市政クラブ(自民系)に対し、

長年にわたって友党として協力した分の見返りとして議長を要求した公明党が激しく対立。背景に、市政クが今回市議選で過半数を割り込ん

だことがある。議長選では、市政クラブの波多野努氏(66)＝5期＝が、

くじ引きを行った結果、波多野氏に決まった。副議長選では、共産党の柴田安彦氏(55)＝8期＝と公明党の松本昌成氏(51)＝4期＝がともに10票を獲得し、

くじ引きで柴田氏が当選した。(佐藤芳久)

就任のあいさつをした波多野氏は、「重要な役割を引き受けることになったが、調整役として全うしたい」と決意を述べた。

柴田氏は「行政をチェックする機関として、当局と緊張感をもって民主的な議会運営に努める」と話した。



努議員(66)＝写真①、蒲郡市政クラブ＝、副議長に柴田安彦議員(55)＝同②、共産党市議団＝を選んだ。共産党議員が同市議会の正副議長ポストに就くのは初めて。正副議長選

議長に波多野議員副議長は柴田議員蒲郡市議会(定数23)は十二日に臨時会を開き、議長に波多野

議長選は、最大会派の蒲郡市政クの波多野議員と公明党市議団の伊藤勝美議員(55)が十票ずつを獲得。副議長選は共産の柴田議員と、公明の松本昌成議員(51)が十票ずつで並んだ。

波多野議員は五期目。副議長、議会運営委員長などを歴任。柴田議員は八期目。総務委員長などを務めた。

はいずれも最多得票の二人が同数で並び、くじ引きが行われた。議会事務局によると、同市議会で議長選がくじ引きになったのは一九八六年以来二十五年ぶり。副議長選は初めて。